

式辞

桜の花びらが風に舞う美しいこのよき日に、福津市市長様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席のもと、福間中学校 第78回入学式が行えますことを、心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様、ご家族の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

福間中学校には、本日代表で出席している生徒会役員や部活動の部長のように、やさしく、たよりになるリーダーたちがたくさんいます。生徒会活動や学校行事、部活動、地域活動で親切に教え支えてくれることでしょう。学習面では、教科が10教科となり、それぞれで専門の先生たちが、指導します。ICTを使って、わかりやすい授業をする先生や、皆さんのセンスを磨き学力・体力を高めてくれる先生、生活指導・進路指導の先生など、担任の先生だけでなく多くの先生たちが、皆さんのために、準備をし、親身になって指導します。積極的に聞いたり、相談したりしてください。部活動でも、熱心に指導してくれる先生たちや、指導者の方がおられます。ぜひ、部活動にも入部してください。

そして、本校は、「いじめがない学校」、「みんなが楽しい学校」、「夢や目標をもち努力できる学校」を基本としています。SNSでの誹謗中傷、悪口や他人を傷つける行為は絶対ないようにしてください。いじめはしない、させない、仲間外れなどが無い、みんなが楽しい、夢や目標をもち努力できる、安心して過ごせる中学校生活にしましょう。

さて、ピッチャーとバッターの、二刀流で有名な、大谷翔平選手を、皆さんも知っていると思いますが、彼の歩んできた人生は、いくつもの生き方のヒントとなるものがあります。

彼は、野球を始めた時から、「野球ノート」をつけていました。その日に起きた良かったこと、悪かったこと、自分が感じた「次にこういうことをやろう」という内容を書き込み、野球以外でも、気づいたこと、読書の中で心に残ったことも、メモに残し、良い、きっかけ作りに利用していたそうです。この良いものを取り入れようとするメモや、一日の振り返りを書く習慣が、「考える」ことや、意識づけとなり、絶えざるレベルアップの原動力になっているそうです。また、他人を見るポイントはいいいところだけで、こういうところを真似してみようと、自分をどう高め成長させるかの努力をしてきたそうです。

さらに、彼は、できないと言われ、そう思ってしまったことが、「できるんじゃないか」と思うことで、できるようになった体験を経て、最初からできないと決めつけることは、やめようと考え方を変えています。

彼は、いろいろなことを、スポーツの素晴らしさや、感動と共に教えてくれています。

みなさんも、自分が気づいたこと感じたことを書いたり、これから出会う人や、今日入学した450名の仲間の良いところを取り入れたりして、自分を高め成長させてください。自分の限界やゴールは他人が決めるものではありません。「できるんじゃないかな」と思って一つでも多くのことができるようになる経験をしてもらいたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆さま、改めまして、お子さまのご入学おめでとうございます。

私たち教職員は、生徒の限りない可能性を信じ、生徒の力を最大限伸ばすよう、教育活動に邁進してまいります。

コミュニティ・スクール福間中学校の教育に、なにとぞ、ご理解、ご協力を、よろしく願いいたします。生徒一人一人が着実に前進していくことを、お約束して、式辞といたします。

令和6年4月10日
福津市立福間中学校
校長 清水 光朗